

感染防止安全計画 (様式1) (2022.7.15版)

1. 開催概要

※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可

イベント名	2022 人形のまち 岩槻まつり https://iwatsuki-matsuri.jp		
出演者・チーム等	別紙、プログラム参照		
開催日時	令和4年9月18日(日) 15時00分～20時00分 ※交通規制解除、20:00		
開催会場	①春日部線、岩槻駅入口交差点から、渋江の交差点までの公道 ②岩槻人形博物館、にぎわい交流館いわつき敷地内駐車場 ③岩槻駅東口クレセントモール ※別紙、プログラム参照		
会場所在地	①さいたま市岩槻区本町 3-12-15 付近から岩槻区本町 6-1-1 付近 ②さいたま市岩槻区本町 6-1-1 ③さいたま市岩槻区本町 3-2-5 付近		
主催者	人形のまち岩槻まつり実行委員会		
所在地	さいたま市岩槻区本町 3-2-5 ワッツ東館 4 階 (実行委員会事務局：さいたま商工会議所岩槻支所内)		
責任者氏名	実行委員長 高橋 三男		
連絡先	電話 048-756-1445 メールアドレス marubayashi.y@saitamacci.or.jp (事務局担当：丸林 淑子)		
収容率 (上限)	<input type="checkbox"/>	収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	↑いずれかを選択 (いずれも大声がないことを担保)		
収容定員	_____ 人		---
参加人数	_____ 延べ 130,000 人		
その他 特記事項			

※大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」とする。

2. 具体的な対策

※対策を取られる項目にチェックを入れた上で、具体的な対策をお書きください

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

<チェック項目>

- ☑ 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用(※1)や大声(※2)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

(※1) マスクの着用については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。

なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。

(※2) 大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

<具体的な対策>

<記載例 >

⇒ マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施

- マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知(チケット購入時の約款に明記等)
- 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
- 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画

⇒ 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫(演者からの呼びかけ等)

具体的な対策をお書きください

- ポスター(100部)、プログラム(10,000部)、ホームページ(新設)等でマスクの着用・大声禁止を来場者および参加団体等に向け告知する。
- 機動警備員等(70名)がマスクの着用・大声禁止のビブスを着用して来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 機動警備員等(35/70名)がハンドスピーカーを用いて、マスクの着用・大声禁止を来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にスピーカーを設置し、マスクの着用・大声禁止のアナウンスをリピートして来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 声援は大声ではなく、拍手を持って行うよう案内板(50ヶ所以上)にて来場者および参加団体等に向け協力依頼・注意を促す。
- 会場内にのぼり旗(50ヶ所)を設置し、マスクの着用・大声禁止を来場者および参加団体等に向け協力依頼・注意を促す。

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- ☑ こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施)
- ☑ 主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施

<具体的な対策>

<記載例 >

- ⇒ 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- ⇒ 施設内の消毒(箇所・頻度等)の計画の検討・実施
- ⇒ アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

具体的な対策をお書きください

- ポスター(100部)、プログラム(10,000部)、ホームページ(新設)で手洗、手指の消毒を来場者および参加団体等に向け告知する。
- 機動警備員等(70名)が手指の消毒のビブスを着用して来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 機動警備員等(35/70名)がハンドスピーカーを用いて、手指の消毒を来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にスピーカーを設置し、手指の消毒のアナウンスをリピートして来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にのぼり旗(50ヶ所)を設置し、手指の消毒を来場者および参加団体等に向け協力依頼・注意を促す。
- 会場内に簡易手洗場(1ヶ所)とハンドソープ(20ヶ)を設置し、手指の消毒を来場者および参加団体等に向け協力依頼・注意を促す。
- 施設内でのイベントではない。
- 施設内のイベントは行わない。

③換気の徹底

<チェック項目>

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気

<具体的な対策>

<記載例 >

⇒個別施設の設備に応じた換気

- 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気
- 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認する手法の検討 ・ 実施
- 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

具体的な対策をお書きください

- 屋外イベントにつき、換気等はない。
- メイン会場（岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき駐車場）においては、人の流れが少ないためサーキュレーターを設置し、入場制限を設ける。

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- ☑ 入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施
- ☑ 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築
- ☑ 人と人とが触れ合わない間隔の確保

<具体的な対策>

<記載例 >

- ⇒ 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画
- ⇒ 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- ⇒ 二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- ⇒ 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

具体的な対策をお書きください

- ポスター（100部）、プログラム（10,000部）、ホームページ（新設）でディンスタンス（三密回避）を来場者および参加団体等に向け告知する。
- 機動警備員等（70名）がディンスタンス（三密回避）のビブスを着用して来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 機動警備員等（35/70名）がハンドスピーカーを用いて、ディンスタンス（三密回避）を来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にスピーカーを設置し、ディンスタンス（三密回避）のアナウンスをリピートして来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にのぼり旗（50ヶ所）を設置し、ディンスタンス（三密回避）を来場者および参加団体等に向け協力依頼・注意を促す。

⑤ 飲食の制限

<チェック項目>

- ☑ 飲食時における感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)の徹底
- ☑ 飲食中以外のマスク着用の推奨
- ☑ 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛(ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない)
- ☑ 自治体の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断(提供する場合は、飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討)

<具体的な対策>

<記載例 >

⇒ 飲食可能エリアにおける飛沫感染等を低減する具体的な感染防止策の策定

⇒ 飲食・アルコールを必要最小限に抑える方策の検討・実施

⇒ 安全なイベント開催のための、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等の対策を事前に周知

具体的な対策をお書きください

- 案内版(100ヶ所)にて、飲食をする場合には黙食を促し、できる限りテイクアウトの協力を促し、ごみの持ち帰りを来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にスピーカーを設置し、マスクの着用・黙食・テイクアウト・ごみの持ち帰りのアナウンスをリピートして来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 機動警備員等(35/70名)がハンドスピーカーを用いて、マスクの着用・黙食・テイクアウト・ごみの持ち帰りを来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- メイン会場(岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき駐車場)においては、人の流れが少ないため飲食禁止とする。
- 実行委員会にて酒類・弁当の配付は一切行わない。

⑥出演者等の感染対策

<チェック項目>

- ☑ 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する
- ☑ 練習時等、イベント 開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する
- ☑ 出演者やスタッフ等と観客が イベント 前後・休憩時間 等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く)

<具体的な対策>

<記載例 >

⇒日常から行う出演者等の健康管理方法の検討

- 出演者の必要に応じた検査の実施
- 健康アプリの活用等

⇒ 演出者やスタッフ等と観客の接触防止策(動線計画・ファンサービスの自粛等)の策定、出演者やスタッフ等及び観客双方への呼びかけ

具体的な対策をお書きください

- ポスター(100部)、プログラム(10,000部)、ホームページ(新設)で、マスクの着用・手指の消毒・大声禁止・ディスタンスを促し、COCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)の利用も来場者および参加団体等に向け告知する。
- 参加団体、実行委員会等の関係者へ抗原検査キット(1,500ヶ)配布し、日常から健康管理を徹底するよう告知する。
- 案内板(100ヶ所)にて、発熱や咳の症状がみられる場合は、来場の自粛を行うよう来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止
- 時差入退場の実施等イベント前後の感染防止の注意喚起

<具体的な対策>

<記載例 >

- ⇒ チケット購入時の参加者の連絡先把握
- ⇒ COCOA や各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討
- ⇒ イベント前後の感染対策に関する具体的な措置
 - 警備員による公共交通機関への誘導等
- ⇒ 検温・検査実施のための体制・実施計画
- ⇒ 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備

具体的な対策をお書きください

- 屋外でのイベントとなるため、来場者の把握ができない。
- ポスター（100部）、プログラム（10,000部）、ホームページ（新設）で、COCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）の利用を来場者および参加団体等に向け告知する。
- 参加団体には名簿の提出を依頼する。
- ポスター（100部）、プログラム（10,000部）、ホームページ（新設）で、マスクの着用・手指の消毒・大声禁止・ディスタンスを促し、COCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）の利用も来場者および参加団体等に向け告知する。
- 機動警備員等（70名）がディスタンス（三密回避）のビブスを着用して来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 機動警備員等（35/70名）がハンドスピーカーを用いて、ディスタンス（三密回避）を来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。
- 会場内にスピーカーを設置し、ディスタンス（三密回避）のアナウンスをリピートして来場者および参加団体等に対し協力依頼・注意を促す。

提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

以降は、該当する場合のみ記載してください

3. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：（所属、氏名）

- さいたま市経済局長
- さいたま市経済局 商工観光部
- さいたま市岩槻区長

主な助言内容：

- コロナ交付金の使途について
- さいたま市内のイベント開催状況について